

さいたま市長 11月定例記者会見

平成27年11月5日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社の時事通信社さん、進行をよろしく願い
いたします。

○ 時事通信社 11月の幹事社を務めます時事通信社といたします。どうぞよろしくお願
いします。

それでは、本日の記者会見内容につきまして市長から説明をお願いします。
す。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

11月に入り、ことしも残すところ2カ月弱となりました。外の空気が
冷たく感じられる日もあり、コートを着ている方などを見かけると、冬が
近づいてきているということを感じさせられますが、皆様、いかがお過ご
しでしょうか。

さて、スポーツのまち・さいたま市では、先月、世界最高峰の自転車レ
ース、ジェイコムプレゼンツ2015ツール・ド・フランスさいたまクリ
テリウムを開催しました。大会当日は天候にも恵まれ、感動と興奮の熱い
レースを多くの方々に堪能していただけたのではないかと考えております。

また、さいたま市はスポーツのみならず文化芸術にも力を入れておりま
す。来年の秋には埼玉県内で初めての国際芸術祭・さいたまトリエンナー
レを開催する予定で、多くの方にトリエンナーレを理解していただくため、
今月もイベントを行いますので、ぜひ足を運んでいただきたいと思ひ
ます。

さいたま市内では、1年を通して様々なイベントが行われております。
イベントを楽しみながら地域の絆を感じてみるのはいかがでしょうか。

では、本題に入らせていただきます。

市長発表：議題「第1回さいたま国際マラソンにつ いて」

それでは、議題ですけれども、来る、11月15日、日曜日に開催され

まず第1回さいたま国際マラソンの概要がまとまりましたので、ご説明をさせていただきます。

まず、スタートの時間ではありますが、9時10分に日本代表チャレンジャーの部がスタートをいたします。これは、リオデジャネイロ・オリンピックの女子マラソン代表選考を兼ねたレースということになります。

続きまして、一般（サブ4）の部が9時40分にスタートします。またその後3キロメートルの部、1.5キロメートルの部、親子ファンランの部が10時から順次スタートします。

フルマラソンのコースでございます。さいたまスーパーアリーナ、ここを出発をしたランナーは国道17号線を南下いたしまして埼大通りを通って、国道463号線を東へ進みます。途中、第二産業道路のところ内側に入りまして、山崎の交差点で折り返しをして、国道463号線に戻ってくる。そしてまた、東に向かいまして、埼玉スタジアム2002のところでもまたこの内側に入りまして、そこからまた折り返しをして国道463号線に戻り、越谷市神明町で折り返しをします。復路は駒場運動公園を右折して、元町通りから旧中山道に入りまして、そこをずっと北へ進み、最後はこの吉敷町のガードを下りまして、戻るような形でさいたまスーパーアリーナに戻ってフィニッシュとなるコースであります。

次に、ランナーのエントリー状況について説明します。エントリー数は、全体としては9,887人ということになります。

まず、日本代表チャレンジャーの部につきましては、日本陸連に登録をして、公認大会で3時間30分以内の記録を持つなどの条件のもとに509名のエントリーがございました。

そのほか、2012年ロンドン・オリンピックの銅メダリストのタチアナ・アルヒポワ選手や2004年ベルリン大会で2時間19分41秒の記録を持つ渋井陽子選手など国内外から16人の招待選手を迎えることとなりました。

一般（サブ4）の部門では、市民、そして県民の優先枠は、それぞれ約5分で、一般枠は約20分で締め切ることとなり、定員を超える5,593人の方々のエントリーがございました。

3キロメートルでは2,141人、1.5キロの部では554人、親子

ファンランの部では537組、1,074人、合わせまして9,887人の方々のエントリーがありました。

特にフルマラソンについては、非常に短時間で定員を超えるエントリーがあったということで、マラソンの人気の高さをうかがえるものとなりました。かねてからフルマラソン化を目指してきた本市にとっては大変意義深さを感じるところであります。

一方で3キロと1.5キロについては定員をやや下回ることになりましたので、今後広報のあり方なども含めて課題であると認識しております。

続きまして、ボランティアの申込み状況でございますけれども、ボランティア人数の総数でございますが、4,159名になります。ボランティアにつきましては、8月20日から申し込み受け付けを開始いたしました。第1回大会ということもありまして、警備の規模やランナーサービスなどの詳細を進めていく中でコース整理員などのボランティア業務に厚みを持たせることといたしました。

申し込み受け付けの結果、全体で4,159人、特に高校生のボランティアが約800人参加をし、この大会運営を支えてくれます。未来を支える若い人の力を歓迎するとともに、大変力強く感じているところであります。また、これだけボランティアが多いというのは、市民の皆さんの関心が大変高いということを改めて感じたところであります。今後ともランナーだけではなくボランティアを初めとする多くの市民とともにこの大会をつくり上げていきたいと考えております。

この大会では、「ここから、世界へ。」をキャッチフレーズにしまして、3つの大会コンセプトを設定いたしております。

1つ目としては、「世界に挑戦する女性ランナーが羽ばたく大会となす」であります。これは、本大会がリオデジャネイロ・オリンピックの代表選考レースを兼ねており、優秀なランナーを世界に送り出すことが第一の使命であるとしているものでございます。

2つ目でございますが、「未来をつくる子どもたちに夢と希望を贈る大会となす」であります。スポーツイベントの社会的な役割とは何か、それは未来をつくる子供たちに感動を体験してもらうことであると考えておりまして、子供たちが参加する関連イベントを積極的に行っていきたいと思

ます。

3つ目は「スポーツのまちに集うすべての人に健康と喜びをもたらす大会となす」であります。これは、ランナー、観戦者、ボランティア、大会に参加した人々全てが主役と考え、充実感を共有し、次の大会を心待ちにするような大会とするというものであります。

そして、「もって」「なす」、これらを共通する表現に用いることでもてなしの心を大会全体のテーマとして位置づけております。主催5者では、関連イベントを通じまして、こうした大会コンセプトを具体化していくことを考えました。

続きまして、関連イベントなどについてでございますが、大会コンセプトの2つ目に「未来をつくる子どもたちに夢と希望を贈る大会となす」について、4つの関連するイベントを実施する予定であります。

1つ目は、読売新聞によりまして、大会を通じて実際の記者と同じ立場で取材を体験し、記者による講評を受ける体験活動を行います。本市からは市立大宮西高校の新聞部の部員7名が参加をいたします。

2つ目でございますが、日本陸連により外国人招待選手のアスカレ・タファ選手と本太中学校の陸上競技部が合同で練習を行います。

3つ目でございますけれども、日本テレビ放送網によりまして、前日のテレビ中継車や記者会見場、また番組収録の様子を見学するバックヤードツアーを行います。このプログラムでは、上落合小学校と下落合小学校の児童が参加をすることになっております。

4つ目は、さいたま国際マラソンエスコートキッズプログラムでありまして、下落合小学校3年、4年生の児童がスタートラインまで国内外の招待選手をエスコートするキッズプログラムを行っていくものでございます。

次に、大会コンセプトの3つ目「スポーツのまちに集うすべての人に健康と喜びをもたらす大会となす」では、3つの関連するイベントを実施することになりました。1つはコース沿道のイベントであります。コース沿道の9カ所で沿道応援隊と称する応援イベントを行うことになりました。地域団体や学校などの協力による応援を行うものであります。

2つ目が女子栄養大学とのコラボレーションでありますけれども、これは埼玉県が主体となりまして、市民ランナーを対象にしましたマラソン直

前の食事メニューの紹介を行う女子栄養大学とのコラボレーションや、埼玉マラソングランドスラムチャンピオンシップということで、埼玉マラソングランドスラムに加盟している大会のうちハーフマラソンの11大会の男女各優勝者から16名を招待する埼玉マラソングランドスラムチャンピオンシップもあわせて行われることになっております。

最後に、「おもてなしの心」に関連するイベントといたしましては、「埼玉うまいもの市場」が開催をされます。全国から集まるランナーや観客をもてなし、さいたま市はもとより、県内の物産、飲食などのブースがさいたま新都心けやきひろばのイルミネーションの中で3日間展開されるものであります。「埼玉うまいもの市場」につきましては、既に提供させていただいたものを参考にお配りさせていただきます。

また、スタートセレモニーのところですが、フルマラソンのスタート前には本市の消防音楽隊と県立大宮高校音楽部が共演をして国歌を斉唱し、ランナースタート後には壮行演奏を行います。

私からは以上でございます。

議題に関する質問

- 時事通信社 どうもありがとうございました。

市長からの説明について質問のある社の方、お願いします。よろしいでしょうか。

幹事社質問1：「旭化成建材のデータ偽装問題について」

幹事社質問2：「ふるさと納税について」

- 時事通信社 では、幹事社質問に行かせていただきます。2点あります。まず1点目なのですが、旭化成建材のデータ偽装問題に関し、市の調査の進捗状況についてまず教えてください。また、データ偽装を認めた社員が関与していなかった別の建物でも改ざんが判明するなど、その影響はまだ広がっています。今後こうしたことが起こらないよう、基礎自治体としてとれる策などについて市長はどうお考えでしょうか。これが1点目です。

2点目なのですが、下半期に入りまして、ふるさと納税の返礼品のラインアップを拡充する自治体がいろいろ出てきております。一方で過度な返礼品競争に陥っているのではないかと指摘もありますが、市長は現在の動きをどのように見ておられますでしょうか。また、国において企業版ふ

るさと納税制度の議論が進んでいますが、これについての市長のお考えをお聞かせください。

以上2点です。

○ 市 長

それでは、幹事社の質問に順次お答えしたいと思います。

まず、1点目の旭化成建材のデータ偽装の問題からお答えをしたいと思います。先日記者会見発表資料でご報告いたしましたとおり、埼玉県から情報提供のありました8件につきましては、現地調査及び工事書類により安全性に問題がないことを確認いたしました。また、旭化成建材が杭を施工したその他の工事につきましては、建築物及び土木構造物を対象に物件の特定を進めております。対象となっているものにつきましては、現地調査及び工事書類の確認を並行して進めているところでございます。これらにつきましては、調査結果を今月中旬をめどに公表していく予定としております。今回のようなデータ偽装を防ぐためだけでなく、公共施設の品質を確保する上で適正な工期及び工事価格を設定してまいりました。引き続き公共工事の品質確保の促進に関する法律に基づき、より適正な工期並びに工事価格の設定をしてまいりたいと考えております。また、適切な現場管理を行うために、工事監理指導及び現場管理を十分に行い、今回のようなことを未然に防いでまいりたいと考えております。

続きまして、ふるさと納税についてのご質問にお答えをしたいと思います。ふるさと納税は、お世話になったふるさとに少しでも貢献をしたいという思いから創設された制度であり、経済的な見返りを期待しない寄附金を活用して自治体を応援することで税控除を受けられる制度であると理解しております。寄附していただいた方へ地域の特性を生かした特産品などをお礼として送ることは各団体の工夫のあらわれであり、地域産業にも寄与するものであると考えております。しかし、一部の団体では、高額な返礼品や寄附額に対して返礼割合の高い返礼品を送る団体もあり、総務省からはそのようなふるさと納税の趣旨に反する返礼品を送付する行為を行わないよう通知が来ております。私も高額な返礼品を送るなどの過度な返礼品競争は制度の趣旨からも避けるべきであると考えております。本市でも9月に返礼品を見直して、地域で販売をしているお菓子やお茶、お酒など種類を多くすることなど工夫もしておりますが、制度の趣旨の範囲内で対

応しております。

企業版のふるさと納税については、まだ制度の中身が国のほうで示されておきませんので、具体的なことは申し上げられませんけれども、制度導入に当たりましては、地方税の応益原則に反するといった意見や、あるいはモラルハザードを懸念する声があることに憂慮することが必要であると考えております。そのため、導入の是非も含めて、地方のさまざまな意見を十分聞いて議論、検討すべきであると考えております。

私からは以上です。

幹事社質問に関する質問

○ 時事通信社 どうもありがとうございました。

幹事社から1点だけ教えてください。2点目の質問についてなのですが、企業版のふるさと納税制度についてなのですが、まだスキームが全体像が明らかになっていない中で何うのもあれなのですが、さいたま市の税収面に与える影響について、これプラスかマイナスか、そのあたりはどのように市長は見ておられますか。

○ 市長 今のところまだ想像がつかないところもありますけれども、一人ひとりの住民というベースで考えると、ふるさとに感謝をするという思いで寄附をして貢献をしようといった気持ちはわかるわけですが、企業の場合、そこに立地をしてほかの都市に寄与するというところだろーと思っておりますので、その場合にどういうことが起こってくるのかというのは私たちもちよつと想像がつかないといえますか、どんな形になってくるのか見えにくいところもあります。企業が立地をすることの中で、それぞれの自治体が雇用であるとか、あるいは税収につながるということで、積極的に企業の誘致であるとか、あるいは企業を育成するということをやっておりますので、その中でこの企業版のふるさと納税でどういうことが起こってくるのか、今のところ何とも想像がつかないところもあります。そういう意味ではどんなことが起こるのかということについても十分ご議論をいただきながら、やはり実施されていくことが必要だと思っておりますし、当然企業がこれまで関連してきたところへということになるだろーと思っておりますけれども、個人のベースでやるものとは少し異なってくるのかなという感じもしております。

- 時事通信社 どうもありがとうございます。
では、代表質問に関連して質問のある者の方、どうぞ。
- 産経新聞 産経新聞と申します。
1点目の旭化成建材のデータ偽装に関することについてのご回答で、現場の管理を十分に行っていききたいということだったのですが、昨日県の定例会見で、杭工事に関して、工事期間中、毎日職員が立ち会うという対策を今後とるという話があったのですけれども、具体的にどういうふうに現場管理を行うのかというところは何か決まっていたら教えてください。
- 事務局 技術管理課です。今現在杭の確認ということで試験杭を立ち会いして(支持層まで)到達しているかという確認を行っております。~~今後ふやして、全数とは言わないですけれども、もっと頻繁に行うということを進めていきたいと考えております。~~(会見後修正) 今後杭施工時において全数とは言えませんが、現場での立会回数を増やすことを考えています。

その他：さいたまクリテリウムについて

- 時事通信 ありがとうございます。
では、そのほか質問のある方はどうぞ。
- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。
24日に終わりましたさいたまクリテリウムなのですが、現時点でスポンサーの収入が幾らになっているのですとか、グッズ売り上げは幾らになっているのですとか、来場者はどのぐらいになったのですとか、そういった数字でまとまっているものがあれば教えていただきたいのと、改めて今回3回目を迎えての評価、それから今後の継続に関してどのようなお気持ちを持って、今後どのように進めていきたいと考えていらっしゃるかをお伺いしたいと思います。
- 市長 まず、最初の数値については担当から。
- 事務局 まず、来場数等に関しましては、12月中旬ぐらいをめどに出していきたいと思います。そしてまた、スポンサー収入並びにオフィシャルサポーター、グッズ等の数値に関しましても、決算見込みを今現在やっている最中ですので、まとめ次第報告させていただきたいと思います。
以上です。
- 埼玉新聞 改めて3回目の市長の評価と今後に向けてのお話です。

○ 市 長

今回も朝から晴天に恵まれまして、さいたま新都心の駅周辺にはサイクルファンのみならずたくさんの方にお越しをいただきまして、本場のフランスの感動と興奮を味わっていただくことができたと考えております。今回の大会についても、とりたてて大きな混乱もなく大会を無事に成功裏に終了することができたと考えております。これも協賛各社様、またオフィシャルサポーターの皆様、また警察や交通事業等関係機関の皆様、そして会場周辺にお住まいの皆様、事業者の皆さんのご理解と、ご協力があったからだと考えております。こうした大会の成功は、市だけでできるものではないと考えております。このほかにも物心両面で大会を支えていただいた多くの皆様にこの場をおかりしまして、改めて感謝を申し上げたいと思います。

スポーツのまち・さいたま市で大会を開催するという事は、本市の魅力を国内外に発信していくという大変意義深いものがあると考えております。今回の大会を通じまして、ますます存在感というものを発信できたと考えております。

また、全体としても昨年度以上に広報的な部分についてもかなり多く報道していただいたり、あるいはSNSなどでも取り上げていただいたりという状況がありました。そういう意味では本市のシティーセールスであるとか都市のブランド化といった意味からも効果があったと考えております。

また現在、来場者数であるとか経済波及効果については算定作業を進めているところでありますけれども、選手の関係者あるいは来場者による宿泊、あるいは飲食、交通など、一定の経済効果があったと考えております。

また、自転車関連業界についても、その業界の活性化にもつながったと思っております。またスポーツ、自転車という競技を間近で見ていただくことによって、さまざまな市民が生活に密着して自転車に親しむ、あるいはそういったことをやっていく、そんな機会にもなったと思っております。

次回以降の開催については、大会のときにASOのアモリ代表が来日をされましたので、次年度の開催について意見交換をしましたところ、まだ具体的などころまでは踏み込んでおりませんが、方向性としては継続開催の意向があるということをお互いに確認をしたという部分はございます。

本市としてもスポーツ振興はもとより、このイベントを、自転車を活用したまちづくりを推進していく上でのシンボルイベントと考えておりますので、市民が誇りに思えるようなイベントとして育てていければと考えております。

しかしながら、また契約の問題もございますので、公費負担の軽減を含めて、それぞれの役割分担であるとか、あるいは協賛金の排他権の緩和など、継続的に交渉が必要である部分もあろうかと思っております。そういったことを含めて検討をしていきたいと思っております。

継続開催に当たっては、解決しなければならない課題もあると思っております。具体的には、さいたま新都心での病院建設等が行われておりますので、同じようなコース設計が果たして可能かどうかというようなこともあろうかと思っております。

いずれにしても、こうした課題をクリアができれば、できるだけ早目早目の準備が重要であると思っております。3回目になってようやく、いろいろなことに少しずつ目配りができるようにもなってきたということもございますので、大会を開催する中でより回数を重ねるごとにいい大会が開催できると私自身は考えております。今後議会あるいは市民の皆様のご理解を得ながら継続ができればと、それに向けて検討していきたいと考えております。

○ 埼玉新聞 関連してあと2点お伺いしたいのですが、継続という意味なのですが、来年も継続するという意味なのか、それとももうちょっと長期的な意味で、継続的という方向性でアモリ社長と意見が一致したのか、どちらなのでしょう。

○ 市長 契約自体は、これまでは単年度で契約をしておりましたので、やはりある程度年を重ねるごとに、大会の質、あるいはいろいろな取り組みもできて、大会自体の効果は上がっていくと感じておりますけれども、ある程度一定の期間継続ができればいいなと私自身は個人的には考えております。これらについては今後どういう形ができるのか、この準備しやすい状況をどうつくるかということもありますし、あるいは協賛金をお願いする企業さんにとってのメリットがどのくらい出てくるかということもございまして、総合的な判断から今後検討していくべきことであると認識をしております。

ます。

- 埼玉新聞 市長は、一定期間継続できればというお考えのようですが、ASO側も同じような認識だったでしょうか。
- 市長 そうですね。ASOも比較的、1回ごとに開催について協議をするということも当然あるわけですが、ASOとしては、さいたま市との信頼関係というのがかなりお互いに構築できたということがございますので、さいたま市は自転車のまちづくりを非常に積極的に推進しているということもASO自身も理解をしてくれています。そういう意味では、いろいろもちろんこれから契約等とかやっていく上で障害はあるかと思いますが、大まかな方向では、それぞれお互いに継続的にできればいいねという部分では感じているところではないかと思っています。
- 埼玉新聞 クリテリウムで最後に1点なのですが、早目に準備をしたいと先ほど市長もおっしゃいましたが、去年は当初予算の前に補正予算を提案して準備を始めましたが、次回についても同じようなやり方で補正予算をつけてと考えていらっしゃるのでしょうか。
- 市長 そういう意味では、昨年よりはことしのほうが準備が早目にできたということもありますので、そういったことを踏まえて考えていきたいと思っております。
- 埼玉新聞 まだ。
- 市長 どういうふうにするかということはありません。
- 埼玉新聞 ただ、うまくいったという認識はお持ちだと。
- 市長 そうですね。いずれにしても、いろいろな意味で準備、スタートを早くしていくということはすごく重要だと思っております。それがしやすい形を議会や市民の皆さんにもご理解をいただきながら、させていただければと思っております。

その他：旭化成建材のデータ偽装問題について

- 朝日新聞 朝日新聞と申します。
旭化成建材の関連でお伺いしたいのですが、横浜市で問題となったコンクリート杭を使う工法ではなく、鋼管を使った工法についても今後調査する考えがあるのかどうか、調査を広げるお考えがあるのかどうかお伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

- 市長 ~~現状としては、まだ調査の対象を広げるということは考えておりませんが、~~
~~けれども、国の動向であるとか、今後のいろんな状況を踏まえながら進め~~
~~ていきたいとは思っております。(会見後修正) 旭化成建材が施工した鋼管~~
~~杭などの工事につきましても、建築物及び土木構造物を対象に物件の特定~~
~~を進めております。対象となっているものにつきましては、現地調査及び~~
~~工事書類の確認を並行して進めているところです。~~

その他：東日本連携・創生フォーラムについて

- 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。
- 先週月曜日の10月26日に行われました東日本連携・創生フォーラムについてお伺いします。各市の首長さんが集まって初めての会議ということで、非常に大成功だったかと思います。各市長、首長さんから具体的な、例えば函館から東日本ゴールデンルート、観光ルートの創設とか、新潟市から輸出面で連携できないかという具体的な幾つかの策が出てきましたけれども、さいたま市においてはこれら具体的に出てきた案が幾つかあるかと思うのですが、各部署ですとか市全体としてどう対応していくという、今後の展開について教えていただけますでしょうか。
- 市長 今回10月26日に行われましたこの東日本の連携・創生フォーラムでいろいろ具体的なご提案なども頂戴をいたしました。1つは、まず市としてどう取り組めるかということも今後検討していきたいと思っております。またあわせてフォーラムの中でも全体としてやっていくべきことと、それぞれ賛同した自治体同士が行っていくといった取り組みもあろうかと思っております。その辺を少し仕分けしながら、事務方で他の自治体とも調整をしながら進めていきたいと思っております。
- いろいろな具体的なものがございましたので、短期的にできる部分と少し時間をかけながら構築をしていくべきものなどあろうかと思っておりますので、そのような点も踏まえながら調整をしていきたいと思っております。
- 埼玉新聞 関連してなのですが、各自治体さんからこれは多分具体的に大宮駅周辺ということだと思っておりますけれども、各連携を模索する指針の拠点施設というのですか、サポートデスクみたいなものをつくってほしいという要望がさいたま市に対してあったかと思うのですが、これについては検討されるご予定などございますでしょうか。

その他：大宮高校強歩大会での死亡事故について

- 埼玉新聞 先日、埼玉県の県立大宮高校で強歩大会に参加していた高校生が倒れて亡くなるという事故がありました。さいたま市は、持久走大会でお子さんが亡くなったという事故を受けて、ASUKAモデルというものつくっていろいろ対応されているかと思うのですが、今回管轄ではない県立高校の事故ですけれども、市内でこういった事故が起きたということで、例えば市として改めて調査検討をして対策をとるようなことはあるのかなのか、あるようでしたらどういうことを予定していらっしゃるのかをお聞かせください。
- 市長 担当が来ていないので、教育委員会の所管なので、私が答えるよりは、後でまた話をさせていただきたいと思います。

その他：大宮アルディージャの活躍について

- 埼玉新聞 また別の件でお伺いしたいことがあります。Jリーグがもう最後J1、J2とも残り2節、3節ぐらいになって佳境を迎えております。Jリーグの2部、J2で大宮が次節、8日にも昇格または昇格と同時に優勝が決まるという可能性があります、この今の状況について、市長はどう考えていらっしゃるかということと、例えば8日の日に市内の施設等でパブリックビューイングですとか、応援するようなイベント等を行う予定があるのかどうかということをお聞かせいただきたいと思います。
- 市長 まず、Jリーグの2部、J2の大宮アルディージャのことについてのご質問にお答えしたいと思います。J1のチームとして長年ずっと頑張ってきた大宮アルディージャが、残念ながら昨年のシーズンでJ2に降格をしました。私たちとしては、本当に大変ショックでもありましたし、とにかく一日も早い復帰をということを願って、今シーズンJ1に行ったときと変わらない形で、私たち行政としてもそうですし、またサポーターや市民の皆さんも含めてそういう思いで応援をしてくださったのだらうと思っています。

もちろん大宮アルディージャ自体もJ1の時代と変わらぬ努力をし、また練習を積み重ねた成果がようやくここへ来てずっと1位を走っているということで、少し勝ち点差は縮まってきておりますけれども、来週以降で

できるだけ早いうちにJ1への復帰、またあわせてJ2の優勝という形になることを私たちとしては願っております。

また、J2に降格をしますと、なかなかJ1に上がってくるタイミングというのが、時間がかかればかかるほど難しいという状況もあるようでありますので、何ともしもことしJ1への復帰を果たしてほしい、こういうふうには考えております。サポーターも含め、皆さんそんな思いでいるのではないかと思います。

それから、パブリックビューイングについては現時点では計画はしておりません。

○ **時事通信社** 市長、ありがとうございました。以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ **進 行** 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

次回の開催は、11月20日金曜日1時半からを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

午後2時15分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。